

## 家庭での牛乳の保存と注意点

生協で一番利用されている牛乳は、なんといっても「せいきょう牛乳」です。地元の指定生産者が毎日搾乳。牛乳工場に運ばれ、新鮮なうちに充填・包装して、生協組合員の皆さんにお届けされています。牛乳はデリケートな食品です。いつでもおいしい牛乳を飲むために、ご家庭でも保存に優しい心配りをお願いします。

### ●冷蔵庫での保存

暖かくなってくると、冷蔵庫の開閉回数も多くなりがちです。1分間開けて閉めた場合、元の温度に冷えるまで10分程度かかるというデータもあります。特にドアポケットに保存すると、冷蔵庫の開閉時に牛乳の温度が上昇しやすいため、開閉時間を短くするなど、注意しましょう。

牛乳の紙パックはにおいを通しやすいという性質があります。キムチなど冷蔵庫の中のおいの強いものをそばに置くと、いつもと違った風味に感じられたり、風味が落ちてしまいます。

### ●牛乳を飲む時

紙パックを開封するときは、注ぎ口に手を触れると雑菌が付きやすいので、触れないようにしましょう。直接口をつけて飲むのは口の中の雑菌が入るので×です。

冷蔵庫から出した牛乳は、すばやくコップに注いで、すばやく冷蔵庫に戻すようにしましょう。暖かい部屋に置いた状態にすると、牛乳の温度が上昇します。温度が上昇すると、雑菌がすぐに繁殖してしまいます。

**このような場合は飲まないでください**

- 分離したりブツブツができています。
- 普段と違うにおいがする。
- 酸味や苦味がある。



2017年  
3月2週  
(10号)

東海コープからの

おいしくって、  
安全なおはなし

